

9 ごみ処理施設広域化との関連について

番号	分類	質問等	回答等
1	ごみ処理施設広域化関連	新ごみ処理施設は、なぜ必要なのですか。	今の施設は、平成35年で稼働から20年となります。一般的に、ごみ処理施設の耐用年数は、約20年とされています。現在の施設を使い続けるのであれば、大規模な修繕が必要となります。
2	ごみ処理施設広域化関連	知多市の清掃センターは、稼働してから、まだ10年しか経っていません。国は、ごみ処理施設の寿命を40年と言っているのに、なぜ、建替えの必要があるのですか。	一般的に、ごみ焼却施設の寿命は、約20年とされています。知多市の清掃センターは、平成15年に竣工し、平成28年度は竣工後14年目となっており、東海市と共同利用する新ごみ処理施設が竣工予定の平成35年では、20年の稼働となります。国の寿命40年という話は、施設稼働後に、延命のための大規模修繕工事を施工した場合の話だと思えます。
3	ごみ処理施設広域化関連	清掃センターの寿命を約20年と説明していますが、それ以上の期間も、施設を使うことは可能だと聞いたことがあります。なぜ、延命しないのですか。	ごみ処理施設の建設には費用がとてかかることから、愛知県の方針では、県内の自治体をブロックごとに分けて、そのブロック内の複数の市町で、ごみ処理施設を建設していくこととなっています。ちょうど東海市も建替えをしなくてはならない時期で、知多市も竣工から20年になることから、スケールメリットを考えたときに、共同で建設する方が費用が抑えることができると判断し、東海市と新しいごみ処理施設を建設するものです。
4	ごみ処理施設広域化関連	家庭系収集ごみ有料化を導入する目的の一つとして、新ごみ処理施設建設のための財源確保とありましたが、東海市と共同利用になる新ごみ処理施設について、現時点で決定していることは何ですか。	東海市とのごみ処理施設について、現在決定しているのは、平成35年度に新施設が完成すること、場所は現在の知多市の清掃センターの敷地内に建設をすること、建設費用についてはそれぞれの人口によって按分することです。処理能力については、現在の施設は、知多市は1日当たり130トン、東海市は1日当たり160トンですが、新しいごみ処理施設は、1日当たり200トン程度を予定しています。したがって、知多市も東海市も、今後、更にごみの減量を図っていくことが必要です。ごみの減量に取り組むことが、建設費や維持管理費の低減につながります。
5	ごみ処理施設広域化関連	現在の清掃センターは、いつまで利用できるのですか。	平成35年度まで現在の清掃センターを利用し、平成36年度からは東海市と共同の新しいごみ処理施設となる予定です。

9 ごみ処理施設広域化との関連について

番号	分類	質問等	回答等
6	ごみ処理施設広域化関連	新ごみ処理施設の場所が、知多市に決まった経緯を教えてください。	現在、東海市清掃センターがある場所、知多市清掃センターがある場所、西知多医療厚生組合のし尿処理施設がある場所の3か所が、住民の理解が得やすいという理由などで、建設候補地となりました。 その中で、周辺への影響や利便性、経済性等を考慮した結果、現知多市清掃センターの敷地内とすることに決定しました。
7	ごみ処理施設広域化関連	市民病院が東海市と一緒になったときに、津波の問題もあり、病院は現在の場所になったと思いますが、津波がきたらどうするのですか。	南海トラフ地震で想定される知多市での津波は、最大3.8mとされていますが、知多市清掃センターの敷地の海拔は約5mあります。
8	ごみ処理施設広域化関連	新ごみ処理施設の規模は、どの程度ですか。	平成27年度に西知多医療厚生組合が検討した新ごみ処理施設の規模は、1日当たり200トンの処理能力ということでした。 現在、知多市清掃センターは1日当たり130トン、東海市清掃センターは1日当たり190トンの処理能力があり、それを足すと1日当たり200トンを超えますが、現在のごみ減量が今後も進むという推計で算出をしているものです。
9	ごみ処理施設広域化関連	新ごみ処理施設のごみ処理方式は、何ですか。	ストーカ方式、直接溶融方式、流動床式ガス化溶融方式の3つの候補が現在ありますが、まだ決まっていません。
10	ごみ処理施設広域化関連	新ごみ処理施設の建設費用は、どれくらいなのですか。	ごみ焼却施設の建設費用は、一般的に処理能力1トン当たり1億円程度とされています。その時の経済の状況などもあり、はっきりは分かりませんが、1日当たり200トンの処理能力の施設であれば、200億円ということになります。
11	ごみ処理施設広域化関連	新ごみ処理施設の建設費用について、東海市との費用負担の割合はどうなるのですか。	建設予定地は知多市の土地のため、西知多医療厚生組合から借地料をもらうという形になる予定です。調査にかかる費用については折半、建物の建設費用に関しては人口に応じた割合になる予定です。運転にかかる費用に関しては、多くの施設がごみの量に応じた割合で負担していますが、現時点ではまだ決まいません。

9 ごみ処理施設広域化との関連について

番号	分類	質問等	回答等
12	ごみ処理施設広域化関連	この時期に家庭系収集ごみ有料化を導入すると、新ごみ処理施設の建設費用が足りないから、それを捻出するためと考えられますが、どうなのですか。	ごみ処理施設のごみ処理費用は、ごみの量に応じた負担割合とすることが一般的です。ごみ処理施設の建設費用は、一般的に1日1トンの処理能力で1億円程度とされています。 ごみを減量することにより、施設の規模を小さくすることができ、建設費用を抑えることができます。家庭系収集ごみ有料化は、ごみの減量と資源化を推進し、段階的にそれらの費用を抑えることを目的としています。
13	ごみ処理施設広域化関連	東海市と合同で建設する新ごみ処理施設では、ごみ処理費用はどれくらいになるのですか。	実際の数字は、まだ分かりません。現在、両市のごみ処理施設の処理能力は、知多市が130トン、東海市が160トンです。新ごみ処理施設は、お互いに減量に取り組み、200トンの規模で建設することを考えています。 減量に取り組むことによって、建設費用や処理費用を抑えることができます。
14	ごみ処理施設広域化関連	平成36年度から、東海市とごみ処理を一緒にやると、また、指定ごみ袋の話をしなけりばならなくなるのではないですか。なぜ、今のタイミングで家庭系収集ごみ有料化を実施するのですか。	今後、東海市と施設を建設するに当たって、両市のごみの量によって規模を決めます。ごみが減れば規模を小さくでき、建設費用を抑えることができます。 また、稼働後の処理費用の負担は、それぞれの市のごみの量に応じて決まるというのが一般的です。急にごみを減量することはできませんので、平成36年度に向けてごみを減らしていくため、この時期の実施となりました。 ごみ処理は一緒に行いますが、ごみの収集はそれぞれの市で行いますので、同じ指定ごみ袋にしなければならないものではありません。
15	ごみ処理施設広域化関連	清掃センターを将来的に東海市と合併させる際に、指定ごみ袋の金額を変更することはないのですか。	将来的なことであり、断定的なことは申し上げられませんが、見直しの機会のひとつとなると思います。新ごみ処理施設を建てる際に、今からごみの減量を進めていけば、施設の容量を抑えることができ、建設費用を抑えることができます。 また、複数の自治体で施設を統合した際に、ごみ処理施設の運転管理に掛かる費用は、各自治体のごみ処理量で按分して負担することが一般的ですが、新ごみ処理施設ができた際に、ごみの減量がかなり進んでおり、手数料の設定が高いと判断されれば、ごみ処理手数料である指定ごみ袋の値段を見直す機会となると思います。

9 ごみ処理施設広域化との関連について

番号	分類	質問等	回答等
16	ごみ処理施設広域化関連	将来的に東海市と共同でごみ処理施設を建設するのに、なぜ同じ制度ではないのですか。	東海市は、一定枚数の指定ごみ袋を無料で配布するという方式で、全国的に珍しいものです。配布する分を超えると、10枚1,100円で購入します。指定ごみ袋を製造して配布する費用が約9,600万円、収入が約4,000万円と非常にコストがかかっており、知多市では、排出量に応じて手数料を負担していただく方式を採用するものです。
17	ごみ処理施設広域化関連	新ごみ処理施設ができるまで東海市のごみは持ち込まれないのですか。	持ち込まれません。新ごみ処理施設ができるまで、お互いの施設で処理をすることになっています。平成36年度から共同の施設を使う予定です。
18	ごみ処理施設広域化関連	東海市と共同のごみ処理施設になる場合、ごみ収集の制度は東海市と同じになるのですか。	ごみ収集の制度自体は、同じにすることは考えていません。
19	ごみ処理施設広域化関連	東海市と共同のごみ処理施設になるのなら、東海市か知多市の方式のどちらかに統一することなのですか。	東海市と揃えなければならない部分もありますが、収集に関してはそれぞれの自治体で行うことが一般的であり、指定ごみ袋の価格などは、必ずしも合わせる必要はありません。
20	ごみ処理施設広域化関連	東海市とごみ処理施設が将来的に合併するとのことですが、東海市は指定ごみ袋を無料配布し、知多市は指定ごみ袋を1枚当たり50円として手数料を集めるのはおかしくないですか。これは、増税と一緒にです。	新ごみ処理施設を東海市と共同利用するようになっても、ごみ収集については、知多市と東海市が各々実施し、必要な経費もそれぞれが別々に負担することとなります。 家庭系収集ごみ有料化の導入については、ごみの減量とリサイクルの推進、ごみ処理費用の公平性の確保、財源の確保を目的としています。
21	ごみ処理施設広域化関連	新ごみ処理施設の燃焼熱を利用して、温水プールを作ることを計画していると聞きましたが、どうなのですか。	熱利用の方法は今後の検討課題となりますが、議題には挙がっています。
22	ごみ処理施設広域化関連	10年ほど前に、佐布里のダム近くに、ごみ焼却場ができる話がありました。それはどうなっているのですか。	それは、平成22年3月に竣工した「東鴻之巣最終処分場」のことだろうと思います。ごみ焼却施設ではありません。